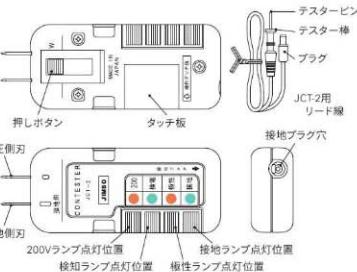




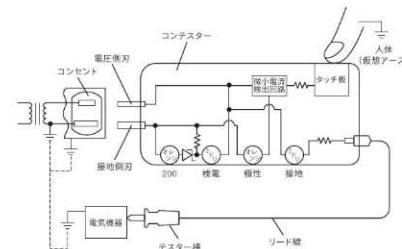
標準価格
¥5,000

JCT-2 CONTESTER

各部名称



回路図



製品仕様

コンセント極性検査器

外形	90 × 40 × 20[mm] (刃を本体に格納した状態) 105 × 40 × 20[mm] (刃を展開した状態)
本体重量	約60[g]
適用電路	対地電圧150V以下の低圧電路
適用電気方式	単相2線式100V、単相3線式100/200V、50/60[Hz]
使用周囲温度	0～40[°C]
絶縁抵抗	100[MΩ]以上 (DC500Vで刃とケース間) AC1500V / 1分間 (刃とケース間(ただしタッチ板は除く))
耐電圧	AC1500V / 1分間 (刃とケース間(ただしタッチ板は除く))
主な付属品	・テスターード線 (2[m]) ・ソフトケース ・取扱説明書



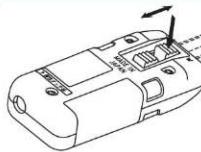
注意

- 本ページに掲載しているJCT-2コンテストアは、100Vコンセント専用です。接地極付コンセントを検査する場合は、前ページに掲載のJCT-3コンテストアをご使用ください。
- 接地形コンセントでは、接地側線([N]または[W])と接地線([E])との誤配線や誤結線を判定することができません。

使用方法

刃の出し入れ

押しボタンを押込んでスライドすると、刃が出し入れできます。



接地有無の点検

接地プラグ穴にテスターード線のプラグを挿入した本体をコンセントにさし込み、接地点検査箇所へテスターpinを接触させた状態で『接地』のランプがミドリ色に点灯すれば接地「あります」です。

・接地極なしコンセントの点検

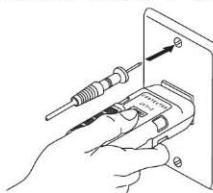
コンテストアを握ると自然とタッチ板に触った状態になるので、検電・極性の点検が同時にできます。



点検方法

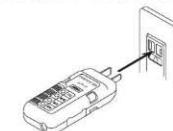
ランプの点灯状態により、下記3種類の点検と判定ができます。

- ① コンセントへコンテストアを正しく差し込む。 → 検電
- ② タッチ板に触る。 → 極性配線の点検
- ③ テスターpinを接地箇所へ接触する。 → 接地有無の点検



・接地極付コンセントの点検

タッチ板に触りながら検電・極性の点検をします。
(配線検査(L-N-E)を行う場合、JCT-3をご使用ください。)



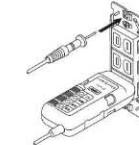
※コンセントに刃を差込むときは、必ず幅の広い接地側刃をコンセントの接地極側に合わせてください。反対の向きで差込むことはできません。

ネオンランプの点灯状態

コンセントの状態	ランプの点灯状態(○=点灯、●=消灯)			
	200	検電	極性	接地
1 100V・極性正常・接地有	●	○	○(①)	○(②)
2 100V・極性正常・接地無	●	○	○(①)	●
3 100V・極性反対・接地有・無	●	○	●	●(③)
4 100V・極性無電路	●	○	※	※
5 200V(④)	○	○	※	※

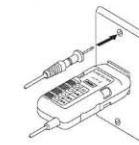
* コンセントの配線状況により、消灯あるいは点灯します。

- ①タッチ板に触れていない状態ではランプは消灯します。
- タッチ板に触れた状態でランプが点灯すれば極性は正常です。
- ②テスターpinを点検箇所へ接触させていない状態または接地のない状態ではランプが点灯しません。
- ③コンセントの極性配線が反対になっている場合には、接地の有無の判定ができません。
- ④『200』のランプが点灯した場合は異常です。電圧・配線を調べて下さい。



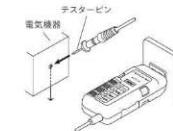
・プレートビスを利用した点検

タッチ板に触りながらテスターpinをプレートビスへ接触されれば、検電・極性・接地の点検が同時にできます。

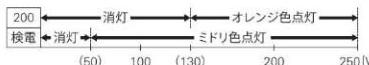


・電気機器の接地部の点検

電気機器の接地点検箇所へテスターpinを接触させ、『接地』ランプがミドリ色に点灯すれば接地「あります」です。



『検電』ランプの点灯状態について



『検電』のランプがミドリ色に点灯すれば100V、『200』のランプがオレンジ色に点灯すると200V(過電圧)です。

極性配線の点検

タッチ板に触った状態で『極性』のランプが、オレンジ色に点灯すれば正常です。



・接地有無の点検は、極性配線が正常でなければ行えません。